



# ルーテル学院だより

NO.137  
2018.12.1

http://www.luther.ac.jp/  
発行 ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校  
〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-20  
TEL: 0422-31-4611 FAX: 0422-33-6405  
発行人 市川 一宏

## 第1回 公認心理師試験 公認心理師の誕生を目前に控えて



ルーテル学院大学臨床心理コース  
教授 谷井 淳一

第1回公認心理師試験が2018年9月に実施されました。公認心理師の誕生を目前に控え、公認心理師がどのような資格として位置づけられたかを簡単にまとめてみたいと思います。言うまでもなく「公認心理師」は心理職では日本で初めての国家資格です。公認心理師法では、以下のような業務が挙げられています。

1. 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
2. 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
3. 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
4. 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

臨床心理士では専門業務として調査・研究が示されていますが、それに代わって公認心理師では4番目に教育・情報の提供が示されています。つまり、公認心理師の業務には健康な人々を対象とした健康教育や啓蒙の活動が含まれていることが特徴です。

### 〈公認心理師の5つの職域〉

公認心理師法では、多職種連携や地域連携など「連携」という臨床心理士

にはなかった役割が示されています。つまり、カウンセラーとクライアントの二者関係における相談活動や心理治療にすむ前に、連携を考えなさいという理念が示されています。この「連携」という役割を適切に果たすためには、公認心理師法施行規則に示された5分野（保健医療、教育、福祉、司法、矯正、産業・組織）の法律や制度をよく理解することが不可欠となります。そのために、新しく創設されたのが「関係行政論」という科目です。

### 〈第1回資格試験を振り返って〉

第1回の資格試験は、主として臨床心理士・精神保健福祉士や看護師などの資格を持ち、すでに様々な領域で働いている現任者を対象として実施されました。そして、現任者に対しては、試験までに現任者講習会を受講することが義務付けられており、講習会の主要な科目がこの新しい「関係行政論」でした。そのため、第1回試験では、法制度関連の課題が多いように思われていました。

ところが、出題された内容を拝見すると、予想より法制度関係の出題は少なく、重相関係数やマグニチュード推定法・実験計画法などの基礎的な心理学の内容が散見されました。それとともに、目についた設問の1つに「最初に行う行動としてふさわしいのは何か」という問いがありました。長期にわたる心理面接を行う前に、最初にどのような対応をすることが適切かを判

断し、場合によって他機関にたぐ役割があること、まさに「連携」という役割が求められていることに關した出題がされたと感じています。

### 〈今後の期待〉

このように地域や関係分野の多職種との連携の中での役割を期待される公認心理師と、カウンセラーとクライアントという二者関係の中で心理治療の専門家としての力量を磨いてきた臨床心理士は、今後、互いの存在を認め合い両立する資格として存在することが可能なのでしょうか。誕生を間近に控えた公認心理師がどのような資格として成長していくのか、目が離せない状況です。

## 三鷹市と包括的な連携協力に関する協定を締結



ルーテル学院大学・大学院、日本ルーテル神学校は、2018年10月17日に、三鷹市と包括的な連携協力に関する協定を結びました。そもそも本学院が三鷹市と協働した取組は、40数年前から行われてきました。そして、三鷹市とは今も強い絆で結ばれています。

今回の協定を締結したことは、今までの実績を確認し、さらにこれから広がっていくことが想定される、少子高齢化と高齢者のみ世帯の増加にともなう包括的ケアのニーズへの取り組み、地域における孤立の予防、児童虐待の防止と子育て支援等に協働して取り組むという、三鷹市と本学院の強い意志を確認し合ったという意味もあります。そのことは、本学院の、「市民誰もが、希望をもって生きていくことができる三鷹市」を共に創り上げていく具体的な挑戦でもあります。市の広報にありますように、「本協定締結を契機として、今後さらに連携協力を強め、双方の持つ資源や場を最大限活用し、地域課題の解決や活力ある地域社会の創造に向けて取組を進めていきます」。

### これまでの取り組み

- (1) 三鷹市のコミュニティをキャンパスとした、学生、教職員による取り組み
  - ① 学生のボランティア活動
  - ② コミュニティをキャンパスにした学生の学び
  - ③ 大学の食堂を使った「食DE絆」
- (2) 地域の福祉人材を育てる
  - ① 卒業生が支える三鷹市の福祉基盤
  - ② 地域福祉ファシリテーターの養成
- (3) 三鷹コミュニティの学びの拠点  
毎年、「市民と学生が共に学ぶ大学講座」として20～30科目の授業を地域の方に公開しており、たくさんの方々が、大学で学んでおられます。三鷹市、三鷹ネットワーク大学との連携による三鷹市民民聴講生助成制度を利用し、受講料の一部助成が受けられます。
- (4) 教員と市民、民間団体、行政等との広範な協働
  - ① 地域ケアネットワーク
  - ② 三鷹ネットワーク大学
  - ③ 教員による三鷹市内の様々な社会的責任

## 「コミュニティ人材養成センター」 「地域福祉ファシリテーター養成講座10期記念のつどい」 が開催されました。

地域福祉開発コース主任・教授  
山口 麻衣

8月25日（土）、三鷹市・武蔵野市・小金井市の3市3社協と、ルーテル学院大学の共同事業として、2009年から始まりました「地域福祉ファシリテーター養成講座」が今年で10年目を迎えたことを記念した「地域福祉ファシリテーター10期記念のつどい」が本学で開催されました。修了生を中心とした10期記念事業実行委員会が企画・準備を進め、当日は修了生・10期生・3市や社協関係者など総勢110名が参加しました。

座談会「ゆるやかで自由！これからの居場所とは？」では、男性がどう地域で活躍したらいいのかなども話しあわれました。その後の発表会「私たちの活動はここが魅力です！」では、講座で企画した活動を継続している15団体がポスター展示とともに熱心に自分たちの活動について報告しました。後継者の悩みや資金のことなどの質問もあり、情報交換と新たな交流の機会となりました。



つどいでは、10年の歩みをまとめた記念冊子も配布され、記載されている修了生へのアンケートの結果からも、修了生が他市や他の期の人とのネットワークやコラボレーションなど、地域でつながり合いながら活動していることが報告されました。また、当日は、オープンキャンパスも開催され、一部のオープンキャンパスに参加いただいた高校生や保護者の方々もつどいを見学に来てくださり、高校生に団体の活動を示したパネルを熱く説明する場面もみられました。10年の節目にお互いに様々な形で活動していることを知り、新たな刺激と連帯感も生まれたつどいとなりました。



## クリスマス オープンキャンパスのご案内 12.15

|       |                                                                 |                                                                                             |
|-------|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12:30 | 受付                                                              | お申し込み・お問い合わせ先<br>企画広報センター<br>電話 0422-32-2949<br>メール koho@luther.ac.jp<br>ファックス 0422-33-6405 |
| 13:00 | チャペルでのクリスマスコンサート<br>(出演：聖歌隊 ハンドベルクワイヤ・ラウスアンジェリカ)                |                                                                                             |
| 14:00 | 模擬講義<br>「希望を届けるソーシャルワーカー」▶市川一宏 学長<br>「家族を通して自分を知る」▶ジェームス・サック 教授 |                                                                                             |
| 15:00 | 大学紹介                                                            |                                                                                             |
| 15:20 | 入試説明会                                                           |                                                                                             |

予約不要





# 認知症サポーター養成講座 高齢実習ゼミ

福祉相談援助コース3年

高橋 未咲

（筑波大学附属視覚特別支援学校出身）

私達は高齢分野で社会福祉士実習を行ったメンバーによるグループで、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。社会福祉士の実習は、児童・障害・高齢の3分野の中から選択して行います。そして、同じ高齢分野のメンバーでチームとなり実習前学習に取り組んだり、実習中の経験・悩みを相談し合ったりしてきました。その高齢分野での学びの集大成としてこの講座を企画しました。

講座を企画するに当たり、どのように準備をするのか、どんなものが必要なのかなど、わからない部分が多く、

本番には、次年度の実習生を中心に多くの方に参加していただきました。そして私達の体験を盛り込んだ説明や寸劇、ロールプレイなどの内容で、認知症について知っていただきました。合わせて「思いやりの気持ち」や、「当事者の立場から考える支援」など、最も伝えたい部分を伝えることができたと思えます。



## サークル探訪

合気道

ルーテル学院大学にはたくさんのサークルがあります。今回は「合気道」サークルの皆さんにお話を伺いました。

① サークルの人数、活動している曜日を教えてください。

現在のサークルメンバーは4名です。毎週水曜日と金曜日に練習を行っています。顧問の原島先生に指導していただいています。

② 合気道サークルの雰囲気をお願いします。

練習はしっかりとやっていますがメンバーの雰囲気は和み系でわきあいあいとしています。

③ どのような練習をしていますか。

授業のあと、6時から8時まで集まり、準備、受け身から始まり、投げ技（呼吸法）、固め技等の練習をしています。練習では、先生から直接指導を受けています。

④ 「合気道」について教えてください。

合気道は武道の一つで勝ち負けはありません。相手と呼吸を合わせ、相手を理解し、相手の力を利用して技をかけます。体型はみんな違いますが、体力の差に係なく参加できます。相手と呼吸を合わせて動くことにより、自分も見つめることができます。

⑤ 合気道をしていて、やりがいを感じる時や難しいと感じる時を教えてください。

技をかけるときに体の力を抜くことが必要ですが、実際にやってみると力を抜くことは難しいです。新しい技を習得するのも難しいのですが、新しい技ができるようになった



⑥ 今後の合気道サークルの目標を教えてください。

まずはメンバーを増やすことです。また、学外での活動を増やし演武会にも出たいと思っています。

⑦ 高校生にメッセージをお願いします。

大学進学について悩むこともあると思います。ぜひ勉強も自分の好きなことも続けてください。大学に入って変わった人、好きなことを見つけた人、合気道サークルを覗いてみてください。

## 高校生のための体験講座報告

チャブレン 河田 優

9月17日（月）、晴れ。本学の教育を紹介する「秋の体験講座」に参加した21名の高校生たちは、これまでとは一味違う授業に大きな関心を持ったようでした。



参加者は、まず8名程度のグループに分けられ、総合人間学部としての特徴を持つ本学の建学の精神を学び、今回のテーマである「あなたの笑顔を届けよう」についての説明を受けました。

ここからは在学生たちの登場です。午前のプログラムには西日本豪雨被災者支援ボランティアに参加した3名の男子学生たちが、呉市で行った泥かきボランティアを紹介し、被災者との交わりから与えられた気づきについて



報告します。午後は、ホームレス支援ボランティアに参加している3名の女子学生がそれぞれの活動を紹介し、ホームレスという言葉を「家（居場所）を失う」ことに重ねて現代社会の問題を提示します。そして、この在学生たちがそれぞれのグループに加わり、参加者と意見を交わすのです。互いに意見を聞き合い、自分の考えをまとめ、それを言葉に表します。はじめは緊張した面持ちの参加者も徐々に意見を交わすようになり、やがては笑顔溢れる体験講座となりました。参加者は出会いの大切さを学んだのです。

次回「高校生のための体験講座」は2019年3月開催予定です。

## 愛祭報告

喜努愛楽

愛祭実行委員長

臨床心理コース2年 中野 良愛

（広島三育学院高等学校出身）

私たち第40回愛祭（めぐみさい）実行委員会は「喜努愛楽」をテーマにして開催の準備を行ってきました。その中で様々な壁にぶつかり、それらを乗り越えることによって、愛祭当日は素晴らしいものとすることができました。

1日目は快晴で、去年よりも多くのお客様にご来場いただき、バザーや屋台も大盛況でした。あまりの盛況ぶりに2日目の商品が無くなるのではないかと心配したほどでした。2日目は朝から気温も低く、お昼頃からは生憎の雨で、ステージ企画を屋内で行うことになりましたが、実行委員の素晴らしい働きにより、屋内への移動をスムーズに終え、タイムスケジュールへの影響は最小限に留める事ができました。

この様に、今年の愛祭を成功として終わらせる事ができたのも、愛祭実行委員会の実行委員、様々な出店をしてくださったサークルや作業所の皆様、そして、近隣住民の皆様のご理解と協力によるものです。

もちろん、全てが上手くいったとは言えず、改善すべき点も多くありましたが、ルーテル学院大学の愛祭はこれからも、人々に「愛される」学園祭となれるよう、後輩たちをサポートしていきたいと思っています。



## 行事予定 12月～3月

- 12月12日(水) キャンパスクリスマス礼拝
- 12月14日(金) 冬フェス
- 12月15日(土) オープンキャンパス
- 12月24日(月) 通常授業終了
- 1月7日(月) 授業再開
- 1月21日(月) 通常授業終了
- 1月22日(火)～1月28日(月) 後期試験期間
- 2月23日(土) 聖歌隊・ハンドベルジョイントコンサート
- 3月8日(金) 卒業式